「館邑会の今昔」

理事長挨拶

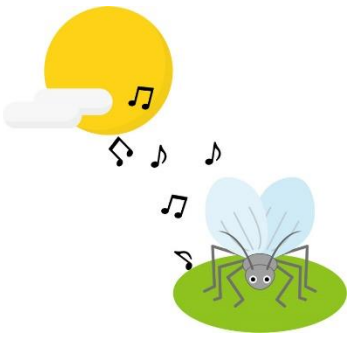
昨年の11月11日山本正理事長がご逝去されました。急遽、残任期間の理事長を拝命いたしました。私は、山本さんの前に3年間理事長に就任しておりましたので、今回2回目の就任でありますがどうぞ皆様よろしくお願いいたします。

さて、社会福祉法人館邑会は文字の通り、館林市と邑楽郡の地域福祉を担う為に、昭和56年4月に通所授産施設の「陽光園」から始まりました。それまでは、館林市立養護学校（現：群馬県立館林特別支援学校）を卒業した子供達の行き先がありませんでした。館林市内邑楽郡内の障害を持った子供たちは学校を卒業したら家庭に戻るしかありませんでした。なんとか、卒業後も安心して通える所。軽作用等を行って作業工賃を稼いだり、たとえ障害が重くとも毎日元気に登園して一緒に自立訓練を受けられるそんな施設ができることを多くの保護者たちが望んでいました。当時、館林市立養護学校でＰＴＡ会長をしていた私は、初代理事長を勤めた多田一雄さん、前理事長の山本正さん達と当時群馬県議会議員の谷津義男さん（現館邑会理事）に協力を頂きまして、陽光園を創ろうと努力してまいりました。すると、大変ありがたい事に、館林市ＰＴＡ連合会様・邑楽郡ＰＴＡ連合会様を通して、施設を創ることに賛同された地域の皆様から100円募金を頂くことが出来ました。そのありがたい100円募金の輪は、地域の高校生たちにまで広がり、心のこもった募金が集められました。その募金は陽光園建設の為に大切に使わせて頂きました。こうして館邑会事業所第1号の陽光園が誕生いたしました。

当時ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

それから37年が経過した今年（平成30年）4月、7つ目の事業所「GOOD JOB（グッドジョブ）」を開所いたしました。社会福祉法人館邑会は地域の皆様のニーズに沿った社会福祉事業を提供しております。

GOOD JOBでは就労継続支援B型のサービスを提供します。こちらでは比較的障がいの軽い方が多く利用されています。場所は館林厚生病院のすぐ南側で交通の便がとても良く、自主通園される利用者にとって大変都合の良い所です。

今後、館邑会では37年経過し老朽化した陽光園の建て替えについて検討してまいります。近代的で便利に、そして何よりここを利用される皆様が気持ち良く安全に使える建物を建設したいと思います。是非今後とも社会福祉法人館邑会を暖かく見守って頂きますようよろしくお願いいたします。

理事長　山川　博